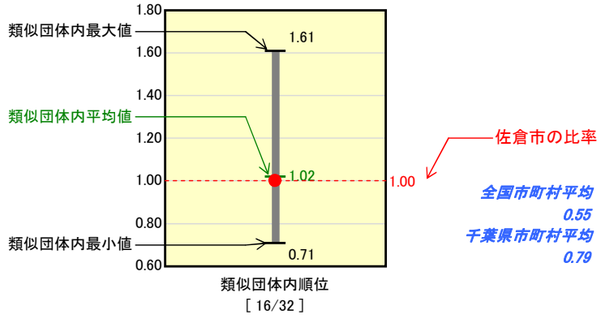
市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

千葉県 佐倉市

人　　口	175,134	人(H20.3.31現在)
面　　積	103.59	㎢
歳入総額	39,163,040	千円
歳出総額	37,885,218	千円
実質収支	1,094,377	千円

財政力

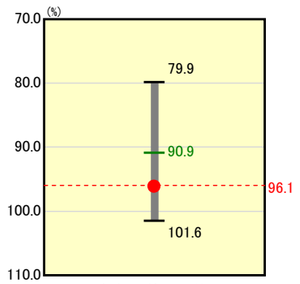
財政力指数　[1.00]



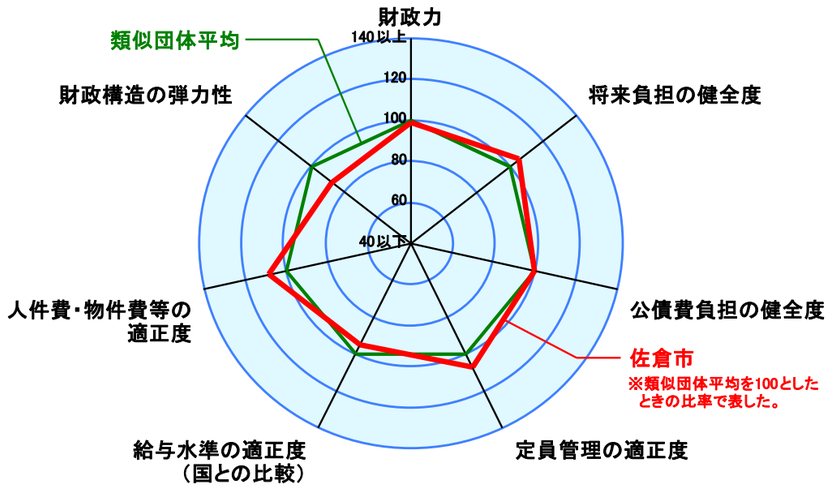
全国市町村平均
0.55
千葉県市町村平均
0.79

財政構造の弾力性

経常収支比率　[96.1%]



全国市町村平均
92.0
千葉県市町村平均
92.1



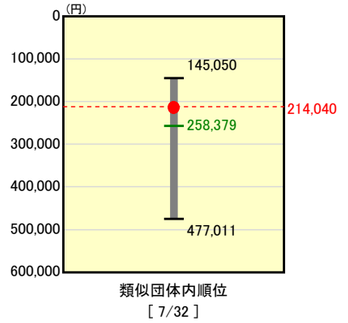
※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

※平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

※ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

将来負担の健全度

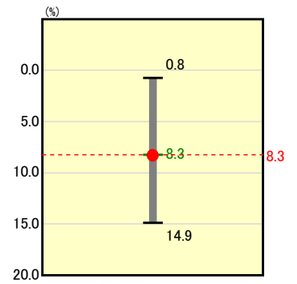
人口1人当たり地方債現在高　[214,040 円]



全国市町村平均
446,922
千葉県市町村平均
332,733

公債費負担の健全度

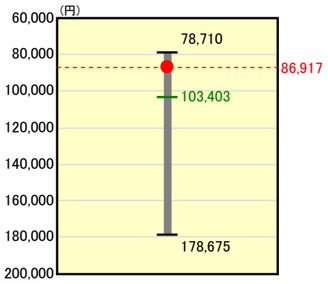
実質公債費比率　[8.3%]



全国市町村平均
12.3
千葉県市町村平均
11.2

人件費・物件費等の適正度

人口1人当たり人件費・物件費等決算額　[86,917 円]

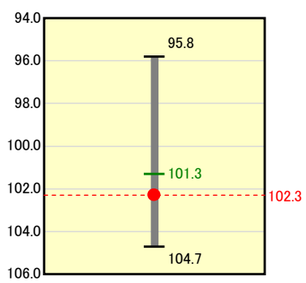


全国市町村平均
116,898
千葉県市町村平均
112,446

※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

給与水準の適正度　（国との比較）

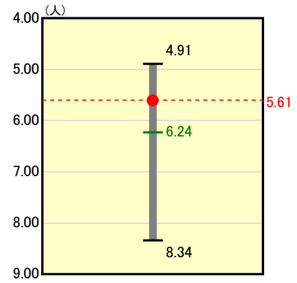
ラスパイレス指数　[102.3]



全国市平均
97.0
全国町村平均
93.2

定員管理の適正度

人口1,000人当たり職員数　[5.61 人]



全国市町村平均
7.82
千葉県市町村平均
7.34

分析欄

財政力指数:
対前年度比で0.01ポイント上昇したものの、類似団体平均をわずかに下回っている。今後も、財源確保等財政基盤強化に努める。

経常収支比率:
対前年度比で4.1ポイント上昇し、過去最も高かった平成16年度に次ぐ指数となっている。市税をはじめとする歳入についてはその確保に努め、歳出についても引き続き経常的経費の抑制に努めるが、扶助費や介護保険等の特別会計への繰出金が増加傾向にあり、地方行政の制度改革なしに経常収支比率を改善することは困難な状況にある。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額:
類似団体平均を16,486円下回っているが、これは、経常的経費や人件費の削減効果による。また、消防・清掃等を一部事務組合で実施しているために、他の団体では人件費・物件費となるものが負担金として支出されていることも影響している。

ラスパイレス指数:
類似団体平均を1.0ポイント上回っているが、初任給基準について段階的な引き下げを実施しており、今後も人事院及び千葉県人事委員会の勧告を尊重し、給与水準の適正化に努める。

人口一人当たり地方債現在高:
類似団体平均を44,339円下回り、対前年度比で7,807円下回っている。現在、新たな地方債の発行額は元金償還金の範囲内に納める方針としており、今後も引き続き削減に努める。

実質公債費比率:
対前年度比で2.0ポイント下回り、公債費は長期的には地方債残高の減少とともに逓減すると見込まれる。一部事務組合等に対しても、地方債発行の抑制について協力を求めていく。

人口1,000人当たり職員数:
類似団体平均を0.63人下回っており、現在、定員適正化計画に基づき職員数の削減を図っているが、事務事業の見直し・民間委託等の推進により引き続き適正化に努める。